

遠賀 町議会

No.176 2024.10.25

おんがちょう
発行／福岡県遠賀町議会

議会だより

9月定例会

令和5年度決算認定

補正予算、条例改正など

活動報告など

一般質問

傍聴者の声

議会ニュースなど

・・・ 2

・・・ 5

・・・ 7

・・・ 8

・・・ 11

・・・ 12

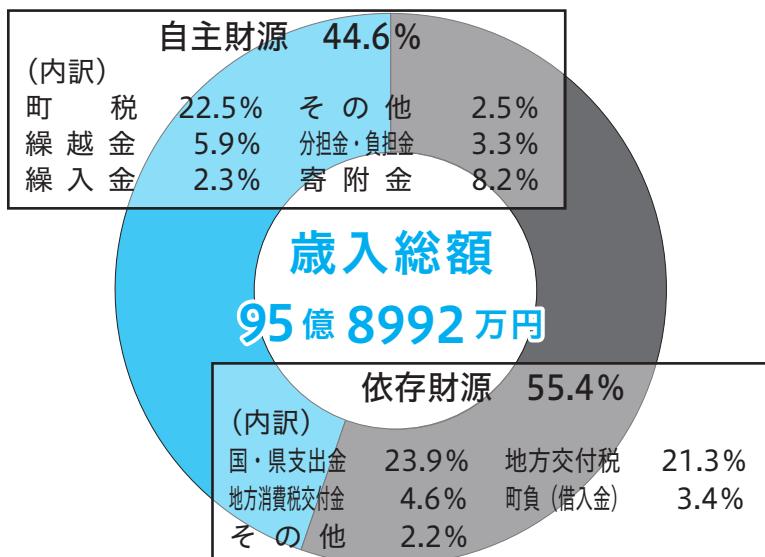
たわわに実るふるさとの稻穂

令和6年9月24日(火)

連日の酷暑に耐えて、今年も町内の田んぼには稻穂がたわわに実っていました。今年もたくさんのおいしいお米ができると思います。みなさんもおいしいお米をたくさん食べてください。

まちづくりを

一般会計歳入 (円未満四捨五入)



町税の税目別収入状況 (円未満四捨五入)

令和5年度 21億5302万円



令和5年度 各会計歳入歳出決算一覧

(円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出	差引残額
一般会計	95億8992万円	93億1227万円	2億7764万円
下水道事業会計	(収益的) 6億491万円 (資本的) 3億2605万円	5億9103万円 4億7846万円	1388万円 ▲1億5241万円
特別会計	国民健康保険事業 住宅新築資金等貸付事業 遠賀靈園事業 土地取得 後期高齢者医療	20億6836万円 762万円 5801万円 291万円 4億354万円	1億1939万円 60万円 373万円 5万円 400万円

※表の金額は円未満を四捨五入していますので、差引残額に差異がある場合があります。

9月定例会は、9月9日から26日まで18日間開催されました。

議案は、令和5年度一般会計と5つの特別会計等の決算認定、条例改正、令和6年度一般会計補正予算など、22議案が上程され、慎重審議を行いました。

監査委員要望事項

本年度の普通会計の決算状況をみると2億9116万円の赤字である。

決算規模は、前年度と比較して縮小している。これは主に、防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金の^(注)皆減による国庫支出金の減によるものである。

今後も、駅南基盤整備事業や山手線道路切替事業に関する経費、小中学校を含む公共施設の修繕費、基幹システムの標準化・共通化事業など大型事業が予定されており、厳しい財政状況が予測される。

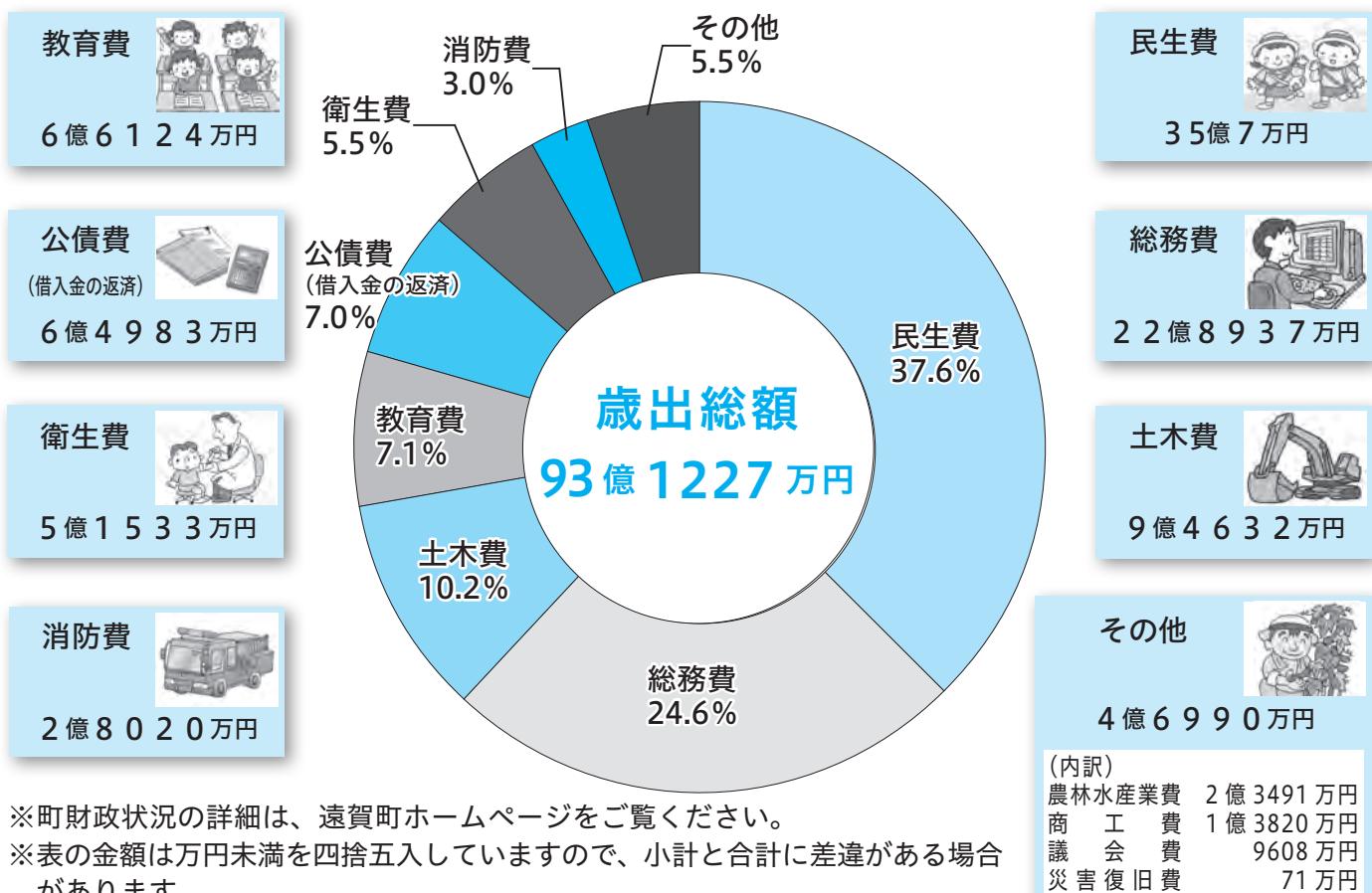
住民が充実できるまちづくりを目指していただき、町税をはじめとする自主財源のさらなる収納率向上に努めるとともに、可能な限り起債や基金からの繰入金に依存しない健全な行財政運営を図っていただくよう要望するものである。

(注) 皆減
前年度から全額減少したもの

ふるさと納税増！豊かな

一般会計 岁出

(万円未満四捨五入)



令和5年度 決算認定

(一般会計・国民健康保険事業特別会計・
後期高齢者医療特別会計 賛成多数認定)
(その他すべて 全員一致認定)

コロナ禍と物価高騰を乗り越えるための支援を柱に



物価高騰対策商品券事業 (歳出)

1億3128万円

物価高騰により大きな影響を受けている
町民の生活を支援し、地域経済の循環を実現。

住民税課税世帯 1世帯当たり・・・ 1万円
住民税非課税世帯等 1世帯当たり・ 5千円
人數額 (世帯主以外分)
世帯人数 2人目以降 1人当たり・・ 5千円

令和5年度

決算特別委員会

審査報告

9月17日～19日

令和5年度一般会計、下水道事業会計、5つの特別会計の歳入歳出決算について、各担当課から主要施策の事業実績を中心に概要聴取を行い、予算がどのように事業に反映されたかを審査しました。

委員長報告

歳入のポイントとして、

「収入確保の努力義務が十分になされているか」に着

分になされているか」に着

目し、具体的には「町税の

徴収が効果的になされてい

るか」「補助金を予算どおり

に確保できているか」「その

他収入確保の努力が十分で

あつたか」を審査しました。

歳出のポイントとして、

「議決された予算が適正か

つ効果的に執行されたか、

また、どのように事業効果

が上がつたか」に着目し、

具体的には「支出が適法適

正になされているか」「不用額は妥当であるか」「予算の



決算特別委員会

～私たちが審査しました～

審査を行った結果、委員会から下記のような指摘をし、全議案を認定しました。

流用や予備費の充当は適正か」「補助金の効果があがつているか」などについて審査しました。

次の指摘事項は、町執行部で検討され、令和7年3月定例会で報告されます。

指摘1



2項目の指摘

決算特別委員会から
町執行部へ

合葬墓1基あたりの料金設定ができない。改葬の手続きや料金の問い合わせが非常に多くなってきている。速やかに周知、募集を行いたい。現在1基168室で計画中だが、需要によつては4基まで建設可能となる。今後の状況を見ながら柔軟に整備していく。

入額は7月で4万7000円、10月で4万4000円程度。7月の落選が351人、10月は206人で、10月は初めて申し込む人が優先的に当選する仕組みになつていて。公平にという観点から商工会と協議して行っている。

課長 令和5年度の平均購入額と希望者の申込額にどれくらいの差があつたのか。皆に行き渡るようにはできないのか。

委員 遠賀総合運動公園の多目的グラウンド野球場ナイト照明が使用できないとあるが、今後、修理、撤去、新設の予定は。

課長 ナイト照明設備は現在漏電しているため電気を止め、撤去に向けて検討を進めている。設置となるとかなりの金額がかかるため現状では考えていない。

委員 入札制度について地元事業者育成のために行つてている方策は。

課長 地元の指名登録事業者から、その工事に対する適正を見て、指名委員会で決定しているが、地元事業者の育成は大きなウエイトを占めている。もう一つは、

130万円以内の小規模工事の登録制度があるので、地元事業者や個人事業者に登録していただき、優先的に契約している。



撤去検討中の野球場照明



こんな質問もありました

課長 合葬墓はまもなく入札を行う。その経費、維持費が算出されていないため

委員 合葬墓についての需要と状況は。

課長 合葬墓はまもなく入札を行う。その経費、維持費が算出されていないため

賛否が分かれた議案 (○:賛成 ▲:反対 欠:欠席) ※全員一致の議案は除いています。

会議名	議案名	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		仲摩	野口	田代	松本	立石	萩尾	瀬田	松尾	二村	舛添	仲野	中野	織田		
9月定例会	遠賀町コミュニティバス条例の一部改正について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和5年度遠賀町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和5年度遠賀町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和5年度遠賀町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	学校給食の無償化を求める請願	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	

活動報告



が必要だと再認識した行政
視察になりました。

令和6年7月29日、30日、
北海道長沼町と新冠町に議
会改革推進会議の議員で視
察を行いました。

今回の視察の目的は①議
員定数の削減に至った経緯
②常任委員会等の運営につ
いての2点です。

長沼町では町民の意見を
把握するため、議会単独で
の全戸対象の町民アンケー
トを実施し、その結果も踏
まえ、議員定数を削減する
条例改正が可決されました。

新冠町では「議会あり方
協議特別委員会」を設置し、
管内の新冠町を除く6町の
議員定数の動向を調査し、
定数削減に至りました。

本町においては、議会改
革推進会議で議会運営が可
能な議員定数について議論
が進んでいますが、慎重
かつ大胆な議会運営の改革



議会運営委員長から議長へ答申を提出

議会運営委員会

令和6年5月24日付で、
本町議会議員2人から「全
員協議会を遠賀町議会会議
規則へ明文化することに関
する要望書」が提出され
た。これを受け、5月28
日に議長から「全員協議会
の法定化の検討」について
諮詢を受け、5月29日、6
月14日、8月19日に会議を
開催し、審議を行いました。

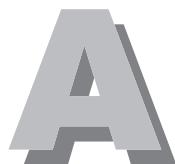
審議にあたっては、県内や
郡内の状況を踏まえ検証を
行い、慎重審議を行った結
果、議会運営委員会として
は、「遠賀町議会全員協議会
規則へ明文化することを
定化することが望ましい」
「実施時期については、速
くに議長へ答申を提出する
ための場として法定化する
ことを検討する」として法
定化することを決定しました。

審議にあたっては、県内や
郡内の状況を踏まえ検証を
行い、慎重審議を行った結
果、議会運営委員会として
は、「遠賀町議会全員協議会
規則へ明文化することを
定化することが望ましい」
「実施時期については、速
くに議長へ答申を提出する
ための場として法定化する
ことを検討する」として法
定化することを決定しました。





町独自の学校給食費の無償化を実施する考えは



保護者の負担軽減策について財源の確保も含めて検討を進めている

なかの
仲野
しんざぶろう
新三郎

地元食材を使った学校給食

完全無償化の場合
の予算について

要保護児童生徒への支援金額などの要因は含んでいない。

議員 給食費の無償化と
いうのは本来、国が責任

を持つてやるべきだと考

えるが、国がやるのを待

つていたらいつになるか

分からぬ。近隣の町が

無償化や一部補助を始め

たという状況を鑑みたと

きに、本町としても何か

しらの支援策を講じるべ

きだと考えるが、本町で

完全無償化を実施した場

合、年間でどのくらいの

予算が必要になると試算

しているか尋ねる。

教育長 令和6年度の給食

費ベースの、小学校月額

4300円、中学校月額

5100円で年間の見込

み額を算出したところ、

完全無償化を実施すると

令和7年度で7700万

円程度が必要と見込んで

いる。しかし、この見込

み額は物価高騰による食

材費の値上げや、昨今の

米価格の上昇見込み、準

どのようにして実施を考
えているか

一部の学年に限定する、
多子世帯や所得などの条
件を定めて一部無償化と
している自治体などさま
ざある。現在、学校給

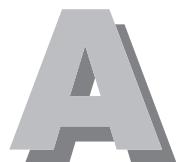
食費の負担軽減について
検討を進めている中では、
一部補助および多子世帯
への支援などさまざま
なパターンで試算を行って
いる。恒久財源として予
算の確保が必要なことか
ら、持続可能な形で制度
を構築する必要がある。

一部無償化や一部補助を
軸に検討を進めており、
令和7年度の当初予算で
何らかの負担軽減につい
て提案することを考えて
いる。

教育長 完全無償化はかな
りの金額になり継続が難
しいこと、他の予算に影
響を与え、多くの支障が
出ることなどの課題があ
る。給食費を支援する就
学援助費などの利用を呼
びかけ、経済的な負担の
ないようにしていく。

制限を設けるなど自治体
によってさまざまだが、
本町で実施する場合はど
のような内容を考えてい
るか尋ねる。

町長 国が公表した全国
の実態調査では、全ての
児童生徒を対象に完全無
償化をしている自治体や、

の ぐち く み こ
野口 久美子

認知症予防のため補聴器購入時、費用の一部助成を

他自治体の情報収集を行い、新年度に向けて制度構築を進めている



自分の聴力に適した補聴器を

最初の補聴器購入
時に一部助成を

集団健診の場で
聴力検査を

議員 聴力による身体障害者手帳を所持していない

とても、早期に補聴器装着を促すとともに、認知症予防の積極的な取り組みとして、最初の補聴器購入時に、費用の一部を助成する考えはない。

議員 認知症対策として、加齢性の難聴などは、本人が気付かないうちに進行し、周囲も難聴であることなどが分からず、適切な支援や受診につながらないという懸念がある。

町長 自分の聴力について、加齢性の難聴などは、本人が気付かないうちに進行し、周囲も難聴であることなどが分からず、適切な支援や受診につながらないという懸念がある。

町長 早期に耳鼻咽喉科専門科での受診につながるよう勧奨していくことが大切だ。受け皿となる医療機関を確保するため、遠賀中間医師会と協議し、健康診査と同様に聴力に関する事後フォローの仕組みを作りたい。

議員 聴力による身体障害者手帳を所持していない自治体が、聴覚障がいに関する身体障害者手帳を持つていない人に対して補聴器の購入補助を行っている。文献の中には、軽度認知障害の時点での補聴器の装着は有効であるとの記載もある。本町においては、高齢者のための総合ケアとして有効であると考え、本年度に入り、他自治体の支給要件などの情報収集を行っており、新年度に向けて制度の構築を進めている。

議員 また、事業実施時は、他の補聴器補助制度とともに周知を図っていきたい。中間医師会との協議も必

要となることから、現段階では実施する予定はない。※この他にも「こども家庭センターの機能や支援の対象年齢について」質問しました。

い。自分の聴力に关心を持つためのきっかけ作りとして集団健診での聴力検査も含め、どのような方法が良いのか、今後の課題として受け止める。

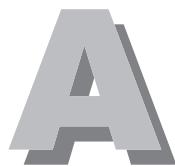
議員 集団健診の場を利用しての検査は、あくまでも聴力に問題がないか



夏も体育館で運動、対策を検討すべきではないか



た しろ
田 代 じゅん じ
順 二



冷房設備ではなく、大型扇風機を増やすなどの検討を行っていく



夏の日差しを浴びる体育館

議員 スポーツ少年団の子どもたちが汗だくで練習しているが、こうした環境について、どう考え

レは、広さや便器数の確保などの関係上、洋式トイレに改修することが難しい。洋式を希望する人には、多目的トイレを案内している。令和7年度内に防災力機能強化のため

用登録および保険証の使用は本人の任意であること、マイナ保険証を持つていない人には、申請なしに資格確認書が交付されることで間違いないか尋ねる。

ト イ レ の 洋 式 化 を

議
題

町長 庁舎正面玄関横の男子トイレについて「洋式にしてほしい」と住民から要望が出ているが、町の考え方を尋ねる。

町長 マイナ保険証の所持率は国保で63.9%、後期高齢者医療保険で62.4%。また、利用率は国保で11.7%、後期医療で6.4%だ。加入者のうち、マイナ保険証を登録していない人は、国保で1333人、後期医療で1396人だ。

物価高騰、低所得者世帯への支援は
議員 物価高騰により苦しい生活を強いられている世帯へ支援する考えは、町長状況を見落とすことなく、必要であるならば議会に諮り進めていくことになるだろうと考えている。
※この他にも「国民健康保険の医療費一部負担の減免について」質問しました。

議員 物価高騰により苦しい生活を強いられている世帯へ支援する考えは、町長状況を見落とすことなく、必要であるならば議会に諮り進めていくことになるだろうと考えている。

※この他にも「国民健康保険の医療費一部負担の減免について」質問しました。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ
(<https://www.town.onga.lg.jp>) で公開します。

2024.10.25 遠賀議会だより No.176

傍聴者の声

9月定例会には、延べ42人が傍聴に来られました。傍聴者の声を一部紹介します。

初めての傍聴でしたが議題が多く、傍聴はとても有意義な時間となりました。初日は町長の発言しか聞けなかつたが、今後は議員の発言に注目したい。

特に高齢者の難聴と認知症の関連質問に関心を持った。引き続き改善を要望します。

議員の質問は高齢者にとって、そして若年性認知症に関して的を射た良い質問だった。視力検査と同様に聴力検査もしつかり受けられるようにしてほしい。

遠賀町は素晴らしい。

町の財政を考慮しての質問（給食費無償化）はとてもよく理解でき、町の財政状況も少しあわかった。聴力の低下が認知症のリスクを高めることがわかった。

発言中の議員の意見をメモする議員が少なく、熱心さが感じられません。

これまで4回の傍聴ですが、今後も継続する予定です。

学校給食の無償化や体育館のエアコンなど、もつと子どもに予算を使ってほしい。

給食費無償化は最終的には難しそうだが、一部補助でもいいので早急に実現させてほしい。不登校、いじめ、ヤングケアラー等の問題にしつかり取り組み、誰もが気軽に相談できる環境を作つてほしい。

音声認識システムについて（回答者19人）

9月定例会から導入された音声認識表示システムの傍聴者アンケートによる満足度の平均は約85%でした。が、サービス向上のために不満な点をお聞きしました。

前に座っている人の頭で字が見えない。

議員席後部の字幕は見えない。二階側面のモニターも真横なので見えにくい。しかし以前よりもわかりやすくなつた。AIなので漢字の変換が間違つていた。

二階はモニターでの傍聴なら別の部屋を設けてはどうか。生の議会を傍聴したい。

遠くて見えにくい。近くのモニターは横にあるので首が痛くなり長時間はつらい。

傍聴者アンケート

（回答者 29人）

①年齢を教えてください

80代以上：45% 70代：38% 60代：17%

②お住まいについて教えてください

町内：97% 町外：3%

③議会に関する情報を何で知りましたか（複数回答）

議員から：48% ホームページ：24% 議会だより：7% その他（友人等）：17%

④傍聴した理由を教えてください（複数回答）

町議会や町政に興味がある：55% 議員の質問内容に興味がある：59% 議案に関心がある：45% 議員や知人に誘われた：14%

⑤議会・議員に期待することは何ですか（複数回答）

町民の声の反映：83% 積極的な政策提案：66% 町政へのチェック：52% ホームページ等を活用した情報発信：21% 議会だよりの充実：28%

⑥また傍聴したい

86%

議会一コース

議場に音声認識表示システムを導入！

「より開かれた議会の実現」に向け、9月定例会から議場に音声認識表示システムを導入しました。

難聴の人や聴覚障がいのある人でも議会傍聴ができるよう、国のデジタル田園都市国家構想交付金の採択を受けて整備したこのシステムは、AIを活用し、議場での発言をリアルタイムに議場と傍聴席に設置したモニターに字幕表示するもので、ぜひ、お気軽に議会傍聴へお越しください。



議場に設置された字幕モニター (左)

議場が青色に！

9月定例会初日と最終日の議場が、色鮮やかな青色になりました。



60周年ブルーで統一された9月定例会

第33回全国市町村交流レガッタ 薩摩川内大会

令和6年9月7日 (土)、川内市で全国市町村交流レガッタ大会が開催され、議会チームとして参加しました (全21クルー)。

予選では1位チームに僅差の2位となり、あと一步のところで決勝進出を逃しましたが、

2日目の順位決定交流戦で奮闘し、総合順位で全国8位となりました。来年は、

練習を重ね、決勝進出できるよう議員全員で頑張ります。



ライトグリーンで揃えた遠賀町議会チーム

遠賀議会だより 次回の定例会は 12月です

詳しい日程は、11月下旬に遠賀町ホームページ (<https://www.town.onga.lg.jp>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。
遠賀町役場・遠賀町中央公民館。

ふれあいの里センター・おんがみらいテラス
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

9月定例会では令和5年度の決算を審議する重要な決算特別委員会がありました。

遠賀議会だより		発行責任者	議会広報常任委員会
委員長	織田 隆徳	議長	
副委員長	立石 紘一郎		
委員	松尾 啓太		
委員	野口 久美子		
委員	田代 順二		
委員	萩尾 修身		

誰も取り残さない公平なまちづくりのため、議員と執行部は時にはぶつかり、時には手を取り合うことが大切だと思います。目的は皆一緒のはずです。これからも町のため人のため、精一杯尽力していきたいと思います。

松尾 啓太

あとがき